

第23回

鈴鹿市脳卒中・循環器病 市民公開講座を開催しました

6月29日(日) ハヤシユナイテッド文化ホール鈴鹿(鈴鹿文化会館)にて多くの市民の皆様にご参加頂き、5名の専門医による脳卒中と循環器病に関する講演を行いました。また、当日は健康相談コーナーを設けたくさんの方にご利用いただきました。



糖尿病・腎臓病教室についてのお知らせ

当院では糖尿病・腎臓病それぞれの教室を開催しています。病氣と上手に付き合うために楽しく学べる教室です。当院通院中の方だけでなく、ご家族の方や他院に通院中の方、関心のある方ならどなたでも参加していただけます。要予約制、参加費は無料です。

糖尿病教室開催日程

9/26(金) 14:00~15:00
11/28(金) 14:00~15:00

腎臓教室開催日程

10/21(火) 14:00~15:20
12/16(火) 14:00~15:20

お申し込みまたはお問合せ先

栄養管理課：059-375-1329

※やむを得ず中止させていただく場合がございます。
最新情報につきましては病院ホームページをご確認下さい。



認定作業療法士取得しました

この度、日本作業療法士協会公認資格である、認定作業療法士を取得しました。2025年5月時点で、三重県で30人程度の資格です。今後の実践や後進育成に向け、一層努めてまいります。



萩野 創 (はぎの はじめ)

病院の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ 地域の基幹病院として医療機関と連携し健康の増進に貢献します
- ▶ 災害時に救援活動を行います
- ▶ チーム医療を推進し安全で高度な医療を提供します
- ▶ 将来を担う有能な医療従事者の育成に努めます
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

ほっと smile

院内美化運動

6月21日(土)、職員による院内美化運動を行いました。当日はお天気にもめぐまれ、大勢の職員が参加し花壇の草取りや溝掃除、木々の剪定作業等を実施しました。



LINE 公式アカウント はじめました

@588uhbko



友達
募集中

編集後記

皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



鈴鹿回生病院 広報委員会
〒513-0836 三重県鈴鹿市国府町112番地の1
TEL059-375-1212 mailinfo@kaiseihp.com

回生 ニュース

社会医療法人 峰和会

K a i s e i N e w s

140号

2025.9月発行

発行/社会医療法人 峰和会
編集/鈴鹿回生病院
所在地/鈴鹿市国府町112番地の1
TEL/059-375-1212
FAX/059-375-1717
URL/http://www.kaiseihp.com
編集協力/TCKnagoya

- 1 医療の現場から「令和7年8月 救急外来完成しました」
- 2 あなたのお街のお医者さん「のぼのクリニック」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
- 4 交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・5分間ストレッチ膝体操 Part2
・固形燃料でワンパンパスタ
- 6 病院薬剤師によるくすりと健康情報局vol.6
・医療は「紙」から「デジタル」へ
～マイナ保険証・電子処方せん・マイナポータルのしくみ～
- 7 Information ほっと smile 他

第15回 脳卒中・循環器病 市民公開講座を開催します

入場
無料

テーマ 「しびれ・動悸・物忘れ・・・
それ、放っておいていいですか？」

日時 令和7年10月26日(日)
13:00~16:00

場所 亀山市文化会館(亀山市東御幸町63番地)

※脳卒中と循環器病に関する専門医4名による講演を予定しています。

感染にも災害にも強い病院へ ～未来を見据えた救急体制の再構築～

診察室 1

地域の皆さまに、より安心して安全な医療を提供するために、当院では救急外来の増設に伴い、陰圧室の新設、初療ベッドの拡充といった救急医療体制の強化を行いました。これにより、従来以上に迅速かつ適切な初期対応が可能となり、感染症流行時や災害発生時にも通常診療を継続できる体制を整備しました。また、救急搬送の受け入れ能力が向上することで、「断らない救急」の実現に近づき、地域の救急医療の信頼性向上にも寄与いたします。

さらに、この整備は地域住民の命を守るだけでなく、医療従事者の教育環境の充実、災害医療支援病院としての機能強化にもつながり、地域全体への還元を意識した取り組みです。

私たちはこれからも、地域と共に歩み、地域に支えられる医療機関として、持続可能で安心できる医療環境の提供を目指してまいります。

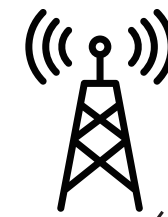
社会医療法人峰和会 鈴鹿回生病院
病院長 荒木 朋浩

診察室 2

トイレ

陰圧室

静養室



病院薬剤師による



くすりと健康情報局

医療は「紙」から「デジタル」へ ～マイナ保険証・電子処方せん・マイナポータルのしくみ～

近年、医療の現場でもデジタル化が進み、より安全で便利なサービスが始まっています。今回は、それぞれの仕組みや利用方法について、わかりやすく解説します。

「マイナ保険証」とは？

マイナンバーカードを健康保険証として使うことができ、医療機関での受付がスムーズになり、過去の薬や健診の情報を共有できます。これにより、重複する薬の処方を避けたり、より安全な診療につながります。

「電子処方せん」とは？

「電子処方せん」が導入されることで、紙の処方せんが不要となり、薬の情報が安全に電子的に管理され、薬局とスムーズに共有されます。電子処方せんにより、患者さんは処方せんをなくす心配がなくなり、複数の医療機関や薬局を利用する場合でも医療者が薬の重複や飲み合わせをチェックしやすくなります。



「マイナポータル」とは？

これらの情報をまとめて確認できるのが「マイナポータル」という専用のサイトです。マイナンバーカードを使ってログインすれば、自分の薬の履歴や健診情報などを簡単に確認できます。つまり、「マイナ保険証」で医療機関や薬局と情報をつなぎ、「電子処方せん」で薬のやりとりをデジタル化し、「マイナポータル」で自分自身が情報を確認できるしくみになっています。

さいごに

これからの医療は、「紙」から「デジタル」へと移り変わっていきます。電子処方せんとマイナ保険証などを活用することで、便利で安全、そしてスムーズな医療の提供が実現されていくことでしょう。

今回掲載の内容について
詳しく知りたい方は
こちらの QR コードへ!!



※厚生労働省ホームページ
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/denshishohousen_kokumin.html

筆者プロフィール

薬剤師 木村 匡男

診療関連部の副部長、薬剤管理課と人事課の課長を兼務。医療薬学指導・専門薬剤師、感染制御専門薬剤師、老年薬学認定薬剤師、スポーツファーマシストなど

医 食 動 源



5分間ストレッチ膝体操 Part2

今年度のテーマは「5分間ストレッチ」です。
お家でも出来る簡単なストレッチを紹介していきます。

理学療法士
橋本 果林

①太ももの内側 ストレッチ

膝を曲げた状態から外側へ倒し、太ももの内側を伸ばします。

②太ももの前側 ストレッチ

うつ伏せの状態で伸ばしたい側の膝を曲げ、足首や足先をつかみ、太ももの前側を伸ばします。

Point



このストレッチは左右 15 ～ 20 秒を各 3 ～ 5 セット実施してください。
・お風呂後など、体が温まっている時にストレッチをすると効果的です。
・痛みや辛さを感じない程度にしましょう。
・呼吸を止めずに無理のない範囲でゆっくりと行いましょう。

発信@
栄養管理室管理栄養士
田川久美子

☆9月1日は防災の日☆

非常時の食事を想定して普段から食べ慣れたものを少し多めに備蓄し、消費しながら補充するローリングストックを実践することが推奨されています。被災中の食事はおにぎりやパンなど主食中心になりがちのため、おかずの備蓄が大切です。また、ライフラインが停止する可能性もあるため、常温で保存できるものや調理不要なものを中心に備蓄しておくほか、カセットコンロやガスボンベを備えておくことも大切です。

今回は固形燃料でつくるパスタを紹介します。

固形燃料で

ワンパンパスタ

材料(1人分)

スパゲティ……………80g (1.6mm 使用)
水……………150ml
オリーブ油……………適量
レトルト鶏肉油漬 (50g/P)……………1/2P
和えるパスタソース……………1P

準備物：
ポケットコンロ、固形燃料、マッチ、クッキングシート、小フライパン

栄養成分

エネルギー……………515Kcal
たんぱく質……………16.5g
脂質……………23.0g
食塩相当量……………2.6g

【作り方】

- ①袋にパスタを半分に折って入れ、パスタがかぶる程度水を注ぎ2時間程度置く。(指でパスタがちぎれるようになったら〇)
- ②フライパンにクッキングシートを敷き、①を入れておく。
- ③ポケットコンロに固形燃料を置いてマッチ等で火をつけ、②を置いて水分を飛ばすように加熱する(15～20分程度)。※パスタがくっついてくるので、途中オリーブ油をいれとよい。
- ④お好みのパスタソースや具材を入れて和える。

固形燃料は火力があまり強くないため期待される仕上がりにはならない可能性はありますが、ほんのり温かく、粉っぽさも少なくなり水戻しだけで食べるよりは美味しく食べられます。

連携医療機関紹介

のぼのクリニック



▲ 中塚 慶徳院長

令和7年6月継承しました

のぼのクリニックは、白鳥橋を南に下り、名越交差点の手前に位置しています。



院長の中塚慶徳先生は、2007年に三重大学医学部をご卒業後、松阪中央総合病院にて初期・後期研修を修了。その後、伊勢赤十字病院、三重大学病院、鈴鹿回生病院、済生会松阪総合病院などの医療機関で脳神経外科医として経験を重ねてこられました。中でも鈴鹿回生病院では最も長く勤務され、脳神経外科副部長を務められました。脳卒中や頭部外傷などの急性期治療に加え、再発予防を目的とした外来診療にも力を注がれていました。そして2025年6月、のぼのクリニックの院長として、その診療を継承されました。

医師を目指したきっかけ

中塚先生は、最初は研究職などを考えていましたが、次第に人と直接関わる臨床の現場にこそ、より強い興味とやりがいを感じるようになり、最終的に医師を志すことになり

ました。「知らないうちに、脳神経外科医である伯父の影響もあったかもしれませんが」と、先生は振り返ります。
数ある診療科の中から脳神経外科を選ばれた理由については、
「もともと神経に関心があったことと、人の命に直結する診療科で働きたいという思いがありました」と語ってくださいました。

開業への想い

もともと開業を視野に入れていたわけではなかったという中塚先生。年齢を重ねても無理なく続けられる形を模索する中で、「開業も一つの道かもしれない」と思うようになったそうです。
「これまで主に脳卒中など発症後の急性期治療に携わってきましたが、高血圧や糖尿病といった生活習慣病を早期に診て、発症を防ぐ「予防医療」にも関わりたいと考えるようになりました。そんな折、なじみのある亀山でのぼのクリニック継承のお話をいただき、地域に貢献できる良い機会と感じて決意しました。前院長は脳神経外科の専門医でありながら、地域に親しまれる“かかりつけ医”として多くの患者さんに信頼されてきました。その姿勢を引き継ぎつつ、専門的な診療も提供していけたらと思っています。またこの地域にはクリニック自体が少なく、閉院すれば患者さんの行き場がなくなる状況でした。脳神経外科医として、自分がその役割を担えたことを嬉しく思っています」。

より質の高い診療を目指して
～WEB予約・WEB問診の導入～

のぼのクリニックでは、新たにWEB予約およびWEB問診を導入しました。
WEB問診の大きな利点は、来院前にご自身の症状や気になることを入力していただける点です。これにより、医師は事前に患者さんの状態を把握できるため、診察時には特に重要なポイントにしっかりと時間をかけることができ、より質の高い診療へとつながることが可能になります。また、WEB問診は電子カルテと連動しており、情報が一元化されることで事務的な手間も減り、診

DATA

TEL 0595-85-3636

住所

亀山市能褒野町79番地22

診療科目

●内科 ●外科●脳神経外科
●リハビリテーション科

診療時間

午前／9時00分～12時00分
午後／15時00分～18時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	×	○	×	○	×	×

外来休診日

火曜午後・木曜午後・土曜日午後
日曜日・祝日

<https://nobonoclinic.jp/>

療の効率化や時間短縮にも寄与します。患者さんの立場から見ても、「医師に伝えなかったことを言いそびれてしまった」といったことが少なくなり、安心して受診いただける体制を整えることができます。

患者さんへのメッセージ

～脳神経外科専門医としての知識と経験を活かしながら、高血圧や糖尿病などの生活習慣病をはじめ、内科的な疾患についても幅広く診療を行っています。何か気になることや不安な症状があれば、どうぞお気軽にご相談ください。
専門分野である頭痛や物忘れの診療にも力を入れており、認知症専門医としての資格も活かしながら、丁寧に対応いたします。必要に応じて、鈴鹿回生病院などの適切な医療機関へご紹介させていただきます～

今後もこの地域のかかりつけ医としてのご活躍を期待しています。